

大博物館だよりの

NO. 59
2008.9

津山郷土博物館

夏休み子ども歴史教室



弥生土器づくり



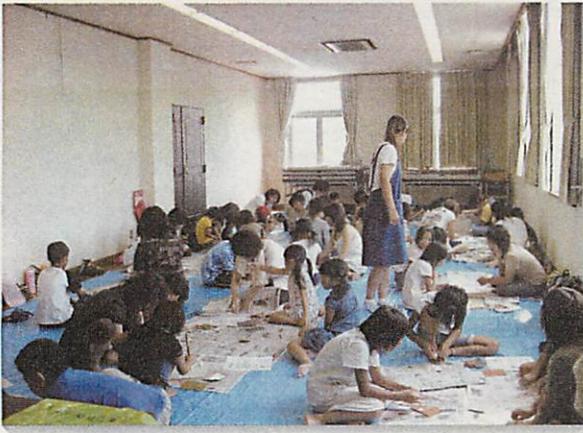
勾玉づくり



夏休みの子ども歴史教室として、「弥生土器をつくるう」「勾玉をつくるう」「布ぞうりをつくるう」を実施しました。それぞれの教室に参加された皆さんは、自分の作品づくりに真剣に取り組んでいました。



布ぞうりづくり



弥生土器づくりは、郷土博物館の夏休み恒例行事です。参加した子どもたちは7月に土器をつくり、8月の酷暑の中、つくった土器を野焼きしました。猛烈な暑さにも負けず、参加した子どもたちは、自分の作品が赤くなって焼き上がるのをじっと観察しました。

勾玉づくり、布ぞうりづくりは、今年度2回目の開催となりました。勾玉づくりは6日間で合計240人の参加がありました。いずれの教室も、子どもたちの夏休みの宿題?に大いに役立ったようです(4ページに感想文を掲載)。

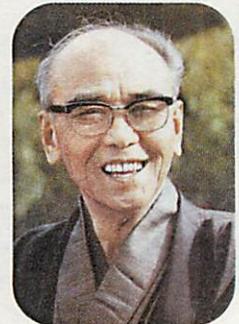
子ども歴史教室は、現在のところ3種類のみですが、今後、津山郷土博物館では様々な教室を計画し、“歴史をたのしむ”ことを目指していきたいとおもいます。

うちだかくうん

津山市(旧勝北町)出身の書道家、内田鶴雲の作品の寄贈を受けました。

去る6月22日、旧勝北町出身の書道家、内田鶴雲の遺作32点が津山市に寄贈されました。

内田鶴雲は、明治31年(1898)7月、岡山県勝田郡勝北町新野(現津山市新野東)に生まれました。岡山県内の学校の教諭を歴任し、昭和23年、ノートルダム清心女子大学講師となり、同年11月、日展に初入選し、翌年から2年連続特選を受賞しました。その後は日展審査員、日展参与などを歴任しました。岡山県文化賞、山陽新聞社賞、中国新聞文化賞など数々の賞を受賞し、44年、勲4等瑞宝章、50年、紺綬褒章。49年に勝北町名誉町民となりました。昭和53年10月29日没。寄贈された作品は屏風10点、額22点で、鶴雲生誕110年記念遺墨展会場の県天神山文化プラザで贈呈式が行われ、御遺族の方から市長に寄贈目録が手渡されました。

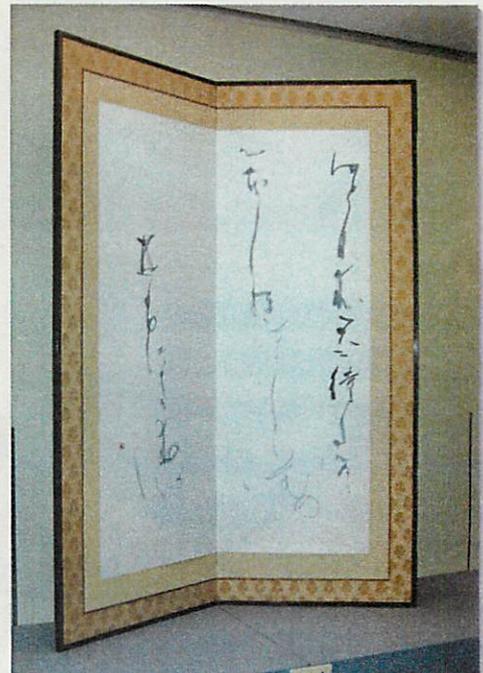


内田 鶴雲

何となく君に得たるる心らして
いでし花ののゆふづき夜かな



庭土に花ひらしるきける
真昼つぼさにみる風あるかなきかぜ
しら魚のうつろふむれのひとつながれ
初秋の雲のそらにすずしき



赤松麟作は明治11年（1878）津山市で生まれ、明治16年には一家で大阪中之島に移りました。16歳のときに、大阪で活躍していた画家山内愚僊のもとに弟子入りし、その後新設された東京美術学校西洋画科に入学し、黒田清輝の指導を受けました。卒業後は三重県立第一中学校美術教師となり、その赴任中に描かれた『夜汽車』で第1回白馬会賞を受賞しました。

文展、帝展に出品する一方、明治41年に大阪に赤松洋画塾を開設し、大正13年からは大阪市展審査員となります。また、関西女子美術学校を開設し、洋画部を担当。大阪洋画壇にあって多くの後進を指導しました。昭和14年には大阪市立美術館で還暦記念回顧展が開催されますが、戦災で多くの作品が失われました。

コロアから印象派に至る西洋近代絵画の動向を消化した、穏健な作風による風景画や女性像が知られる一方で、初期の代表作『夜汽車』に通じる風俗画や、あるいは歴史画に対する指向も、後年まで認められます。



『 溪流 』 1940年

津山郷土博物館の予定（平成20年10月以降）

■特別展

「～花と子どもの画家～庄野ヒカル展」

- 会期／10月4日（土）～11月24日（月）
- 会場／津山郷土博物館3階展示室



■教育活動

秋の子ども歴史教室「トンボ玉をつくろう」

- 日 時／11月1日（土）9時30分～11時30分
- 会 場／津山郷土博物館2階研修室
- 対象と定員／小学校高学年（5・6年）20名
- 参加費／400円
- 申込期間／10月21日（火）～ 定員になり次第締切り。



※ガラスをバーナーで溶かし、きれいなトンボ玉（ガラスのビーズ）をつくります。

ひとこと

子ども歴史教室は今回も満員御礼。弥生土器づくりでは一部の作品が焼成前に壊れてしまうというハプニングもあり、一部の参加者の方には大変ご迷惑をおかけしました。次はあらたな歴史教室として、トンボ玉づくりを計画しました。郷土博物館では初めてのこころみです。

今年度の特別展は、津山出身の画家、庄野ヒカルをとりあげます。絵画をテーマにした今までにない特別展といえるでしょう。たくさんの方々の来館をお待ちしています。

今回は体験教室全部に参加しました。土器作りでは、ちょっとむずかしかったけど、とてもきれいな形の土器ができました。図工があまり得意ではありませんが、この体験で図工が少しでも得意になれた気がします。一番むずかしかったのが形を決めることです。この形にすると、どこをどうすればその形になるか、そういうことを考えるのがむずかしかったです。一番つらかったのは、暑い中、土器を焼いたことです。色の変化など見なければいけなかったので、とても暑かったです。でも、とても楽しい体験教室でした。

(北小学校6年 藤原 朋香さん)

最初はパツパツとかん単にできると思っていたけど、意外とむずかしくて作り終わるのもおそくなりました。みんな作り終わるのは早かったけど、手をぬかずにゆっくりやりました。セラミド(ねん土みたいな物)が固まると作りにくくなったりしたので水をたくさんかけてしまったので、どろどろになるかもしれないと思いました。でもきれいにかわっていたのでよかったです。また、最初からやってみたいです。

(佐良山小学校5年 日下 稔基君)

体験をして土器の作り方がわかった。さいしょの土器の形を作るのはむずかしかった。土器を焼く温度は約600度から800度らしいです。なぜ土器を焼くんだらうなあと思いました。たぶん長もちするからだらうなあと思いました。体験をしてむずかしかったです。

(高野小学校6年 高尾 祐太君)

楽しみでとてもワクワクしていました。どんな人がくるかな?などと待ちきれないほど楽しみでした。弥生土器を初めて作るので説明をよくききました。聞いたあと、弥生土器作りにチャレンジです。わたしは、土器を作るのは簡単なと思っていたがそんなに簡単ではなかったです。かたちをととのえたり、もようをいれたり、たいへんでした。自分で作った土器は、2週間ほどかわかさなくてはならないので、少し残念でした。そして今日(8月12日)土器を焼く日になりました。きたときには、もう土器を焼く準備がしてありました。自分の土器をならべました。火をつけたとき、温度はいっきにあがってとてもあつかったです。わたしはまだかなまだかなと、とても楽しみでした。自分が作った土器は、夏休みの宿題、自由研究にしようとおもいます。本当に楽しかったです。

(弥生小学校6年 甲元 未夢希さん)

土器づくりは、くみだてている時が一番むずかしかった。上手に作ろうとねちねちしていたらかわいてひびができたのでまたうえにねんどをかぶせるかんじょくがよかった。最初はむずかしいと思っていたが図工のへたな私もできたから楽しかった。土器を焼く時、けむりが鼻に入ってきたらちわるかった。また作ってみたいと思う。ひもじょうのねんどがまだみえる人もいた。こんどは、木のいす作りもやってほしいと思う。

(弥生小学校5年 横山 花奈さん)

思ったことは土器をつくる時、セラミドというねんどみたいなもので土器を作りました。はじめはその土をよくこねて長い形に一つずつ、つまかさねていくのが(ちょっとめんどくさいなあ)という気持ちだったけれど、だんだんやっていくうちに(あっけっこうたのしいもんじゃなあ)としらないうちにそう思っていました。ぼくはこの夏休み体験教室で土器づくり・布ぞうりづくりをやってみてすごたのしかったです。また来年もこようと思います。ありがとうございました。

(弥生小学校5年 下山 翔君)

最初に、はじめて作るので少し楽しみにしていました。ねんどをねるのは、少しむずかしいと思っていたけど、むずかしくもなくかんたんでもなく、ふつうでした。「ろうそくを立てる物を作ろう!」と思ったけどむずかしかったです。ろうそく立てともうひとつボウルを作りました。そんなに作るのは、大変じゃなかったです。2日目のやく目は、あつくてとっても大変そうでした。「昔の人は、これを大変だけどがんばってやっていたんだ」とわかりました。いいたいけんができてよかったです。

(向陽小学校5年 土居 沙良さん)

つくるときは、ぼうを長くして、つまかさねていって、まんなかをふとくしたりほそくしたりする人がいた。一つ一つかさねていくときに、空気はいらないようにするのがいちばんむずかしかった。やくときには、さいしょに、どおくのほうにおいてかんそうさせて、だんだんちかくにおいていった。なんでかんそうをさせるんですか。ときいたら、いきなりちかくにおいてられるから、といていた。またらい年もやりたい。

(佐良山小学校5年 中塚 康太君)

博物館入館案内

- 開館時間：午前9:00～午後5:00
 - 休館日：毎週月曜日・祝日の翌日
12月27日～1月4日・その他
 - 入館料：一般 210円(160円)
高校・大学生 150円(120円)
中学生以下 無料
- ※()は30人以上の団体

大博物館だより No.59 平成20年9月1日

編集・発行：津山郷土博物館
〒708-0022 岡山県津山市山下92
☎(0868)22-4567 ☎(0868)23-9874
E-mail: tsu-haku@vtv.ne.jp
印刷：二葉